



### 教えてみきゃん！Q & Aコーナー 拡大版



これまでに皆さんから寄せられた民泊に関する質問に、みきゃんが答えます。

Q. 民泊協会の活動費は区の負担になるの？

A. 民泊協会の活動費として、町から交付金が交付されるんよ。

Q. 宿泊料金はいくら支払われるの？

A. 選手・監督1人当たり7,700円(1泊2食)が支払われるけん。でも、全額が民泊受入家庭に支払われるわけやなくて、寝具のリース料金や集会所等の拠点施設で提供される朝・夕食代も宿泊料金に含まれとるんよ。



Q. 集会所等の拠点施設から競技会場までの送迎はどうするの？

A. チームバスで来町しとるチームは、チームバスで移動するけん。その他のチームは、町が借り上げたバスで送迎するけん、民泊協会で送迎する必要はないんよ。でも、拠点施設から民泊受入家庭までは、家庭班の人に送迎をお願いしたいんよ。

Q. 民泊受入家庭にはどんな条件があるの？

A. 選手・監督1人当たり2畳の広さが確保できる宿泊部屋を提供できることが条件になるんよ。

### 民泊の思い出

この賞状はお母さんに置いて帰るよ (山口県岩国市/カヌー競技/民泊受入家庭)



国体の調理班として実習を重ねている頃、急遽「民泊受入家庭」への依頼があった。不安と迷いの中、主人の「引き受けたからには、気持ち良くおもてなしをしよう」という一言で心は決まった。それからは農繁期でもあり、忙しい準備の日々が始まった。民泊受入家庭の仲間と情報交換するうちに絆が深まるのも感じた。

歓迎会の日、企業チームに所属する女性と、まだあどけなさが残る女子高校生が我が家に来てきた。2人とも民泊は初めてということで不安もあったと思うが、私達夫婦の事を「お父さん、お母さん」と呼んで馴染んでくれた。共に生活するうちに、彼女たちの持つ雰囲気の中から映像等では感じる事の出来ないライブでのスポーツマンシップに魅了された。それは徹底した自己管理、後輩への愛情ある厳しさや礼節の指導、重圧との戦い…。2人が笑顔の裏で流したであろう涙を思った。そして歓談のひとつときには、競技についての説明をしてくれて、カ

ヌーがより身近に感じられるようになった。

試合の日は主人も仕事を休み、家庭班の方々と「次はうちの子よ」「次はうちの子よ」といつの間にか応援団ができ、選手全員への声援を心から楽しんだ。

我が家では、成年女子の部の500mで3位、200mで5位に入賞。彼女はすぐに「この賞状はお母さんに置いて帰るよ」と自己最高記録である3位の賞状を渡してくれ、感動で涙が出た。

最後の日、2人が書いてくれたメッセージやこの賞状に込められた思いを置き土産に、再会を約束して別れを惜しんだ。若い2人には教えられることも多く、当初の不安をかき消す楽しさを味わうことができた。

大勢の選手の中から縁あって我が家へ来てくれた2人のなでしこ。この出会いを大切に、来年の岐阜国体ツアーを夢見たりしながら、本当に民泊を引き受けて良かったと思い出にひたる今日この頃である。